

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	73	学校名	茨城県立取手第二高等学校				課程	全日制		学校長名	梅澤 義昭				
教頭名	張替 良								事務(室)長名	田村 文男					
教職員数	教諭		養護教諭		常勤講師		非常勤講師		実習教諭, 実習講師, 実習助手		事務職員等		技術職員等		計
	31		1		11		1		2		3		2		51
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科	75	86	67	61	59	58			201	205	12			
	家政科	0	40	0	35	0	33			0	108	3			

2 目指す学校像

「考究せよ 忍耐せよ 実践せよ」の校訓に基づき、めまぐるしく変化する社会にあって、しっかりとした自己を持ち、たくましく生きていく人間の育成を目指す。

また、生徒一人一人を大切に、それぞれの進路希望の実現を図る教育を推進し、地域社会から信頼される学校づくりに努める。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の学習意欲が不十分であり、基礎学力が不足している。	基礎学力の定着・向上の取り組みをどう進めるか。
進路指導	進路目標が明確でない生徒が多い。	早くから進路意識を高めるために、どのような方策をとっていくか。
生徒指導	基本的な生活習慣が確立されていない生徒が少なくない。	遅刻防止、頭髪・服装の効果的な指導をどう推進するか。
特別活動	部活動への参加が少ない。	部活動への積極的参加をどう推進するか。

4 中期的目標

平成17年度に創立80周年を迎えるにあたり、良き伝統を継承しつつ、学習・生活面とも基礎・基本を重視した教育をさらに推し進める。部活動・ボランティア活動等を活発にし、しっかりした自己を持ち、社会に貢献できる人材の育成に努める。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	基礎学力の定着	分かりやすい授業を展開するとともに、計画的に課外等を実施し、基礎学力の定着を図る。	
	基本的な生活習慣の養成	段階的な遅刻指導、継続的・段階的な頭髪・服装指導を行い、規範意識の養成を図る。	
	進路目標の早期決定	複数回の進路希望調査をもとに、HRにおいてきめ細かい指導を行い、早期に進路目標を決定させる。	
	創立80周年を控え、部活動の活性化を図る	全教職員が部活動を担当し、きめ細かな指導にあたり、生徒の部活動への参加を促す。	
2年次	基礎学力の充実	生徒の興味・関心のもてる指導法を工夫するとともに、個々の習熟の程度に応じた適切な指導を行う。	
	基本的な生活習慣の定着	全教職員の共通理解のもとに、遅刻指導・登下校指導・服装指導・礼法指導等を推進し、規範意識の定着を図る。	
	進路目標達成のため、学年別の具体的方策を研究・実践する	大学進学に向けた外部模擬試験、就職に向けた各種試験・適性検査を計画的に実施する。	
	創立80周年にあたり、良き伝統の継承を促す	部活動の活性化をはかるとともに、生徒会・家庭クラブ・JRCを中心にボランティア活動の輪を広げる。	
3年次	基礎学力の向上	生徒一人一人が主体的に学べる指導方法を研究し、きめ細かな指導にあたり、基礎学力の向上を目指す。	
	基本的な生活習慣の確立	遅刻指導・服装指導等を徹底し規範意識を確立するとともに、体験活動を推進し豊かな人間性を培う。	
	3年間を見通した計画的な進路指導の実践	学年別に明確な進路指導目標を設定し、総合的な学習の時間・LHR等を活用して、計画的に進路指導を行う。	
	新たな伝統の一步を踏み出す	1年生全員部活動加入、全校生徒のボランティア活動またはインターンシップ体験を目指す。	